

# 出雲市病児・病後児保育室だより

## 第6号～病児・病後児6施設合同おたより～



秋も深まってきました。

これからは、次第に寒くなり、お子さんにとっては感染症が流行する心配な季節でもありますね。出雲市内には現在6カ所の病児・病後児保育施設があり、看護師や保育士による保育を行っています。お子さんが病気または病気の回復期にあって集団保育や家庭での保育が困難な時に利用できますので、お困りの時はぜひご相談下さい。

今回の合同おたより第6号では、各施設の紹介と保護者支援の取り組みについてお知らせいたします。

### わたなべこどもレディースクリニック

病児保育室 ひよこ

病児保育室ひよこは、クリニック併設の施設です。ご利用の前にクリニックを受診してからの入室になります。少しでも早い回復となるように、保育中に症状が変われば、専任の看護師とクリニックが連携し、処置や検査を受けることもあります。人見知りや初めての場所で涙が出るお子さんもおられます、家庭的な雰囲気の中で食事や睡眠がとれるように、また、遊びの充実にも工夫しています。利用がいっぱいの時は、各施設の看護師とも連携をとり、他の施設も利用が出来るように調整し、出雲市の病児病後児保育を支える場所となるよう努めています。

発達相談や医療的ケアの必要なお子さんもご相談ください。



### 浜山あおい保育園

病後児保育室 まーま

病後児保育室まーまには、AEDやベビーセンス（無呼吸アラーム）等の器具を常備しています。専属の看護師が常にお子さんを見護・保育していますので安心して預けていただけます！

日々、大事にしていることは『まーま』の名前の通り、お母さんのように子どもさんをやさしく包み込むようにという想いで保育することです。そして少しでもはやく回復できるようサポートしたいと思っています。

また、まーまのランチはとにかく元気が出るメニューです。もちろん体調に合わせた食事で見た目もかわいくお子さんも自然と笑顔になります。インスタグラムに写真をアップしていますのでご覧ください。



### 島根大学医学部附属病院

病児・病後児保育室 ニコニコうさぎ



ニコニコうさぎは病児・病後児の子どもさんが共に利用できます。

子どもさんが安心して過ごせるように、一人ひとりの症状に合わせた看護・保育を行っています。また、保護者さんには子どもさんの一日の様子を詳しくお話することで安心して

頂き、力になれるように日々取り組んでいます。

「明日もニコニコに来る！」と言われる子どもさん、お迎えに来た時に笑顔の子どもを見て、「手厚く見て頂いたり迅速に対応して頂き、安心して仕事ができます！」など保護者さんからの嬉しい言葉を頂いています。

子どもさんは心地よい場所であり、保護者さんにもまた利用したいと思ってもらえたらしいなと思います。

### 平田保育会

病児・病後児保育 ほほえみ

ほほえみで心がけていることは、お子さんが慣れない場所でもなるべく安心して過ごせるような環境づくりと関わり、そして体調回復に向けたきめ細やかな保育看護です。利用されるお子さんは0~1歳が多いですが、発達に応じた好きな遊びを楽しんだり、スムーズに食事や睡眠がとれるように気を配っています。

また、保護者には家庭での様子のポイントを押さえた聞き取りと、お迎えの時にその日のお子さんの様子をわかりやすく伝える事を心がけています。そして、受診された医療機関とも連絡を密にすることで、お子さんに必要なより良い保育看護を提供できるよう努めています。



### あすなろ第2保育園

病後児保育室あすなろキッズルーム

あすなろキッズルームは、看護師と保育士を配置し、手作り玩具を利用し、お子さま一人一人の発達や個性に合わせ、穏やかにゆったりと楽しめるように保育看護を提供しています。お子さまは慣れない環境で1日を過ごすことになるため、まずは保育者に慣れ、一緒に絵本を読んだり、遊びながら笑顔を引き出せるように努めています。

お迎えの時等に保護者の方から、「楽しかった」「また来たいと言っています」というありがたいご意見もいただいている。また、当施設は全国病児保育協議会加盟施設であり、研修等にも参加し、保護者の方にあんしんを提供できるよう頑張ります。



各施設の場所や予約方法など詳しい情報は、出雲市のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

